涼こかげ（すず）

アルミ組立式メッシュテント

開閉タイプ

SKA/3040　　SKA/3050

取扱説明書

要保管

梱包内容

- ●柱フレーム……×4
- ●桁フレーム……×4
- ●天幕開閉用レール……×2（レールコマ、レールストッパー、S字フック付　）
- ●コーナージョイント……×4
- ●フレームベース……×4
- ●ワイヤーブレス……×2
- ●めがねクイ……×4
- ●リベット頭クイ……×8
- ●フレーム固定用ベルト……×4
- ●天幕開閉用ベルト……×2
- ●メッシュ天幕（芯材・ガイロカン付）…×1

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

シグナルマークの定義

⚠警告　この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

使用条件

使用環境

⚠警告 ①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。

⚠警告 ②勾配のある場所は避け、平らな場所に設置してください。また、電線に触れない場所に設置してください。

⚠警告 ③周囲に子供や関係者以外の人がいないのを確認して、フレームの組立て、解体を行ってください。

用途

⚠警告 ①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。

⚠警告 ②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠注意 ③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

取扱上の注意

⚠警告 ①設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ベルト」と「クイ」、または別売りの「加重付ベース」「埋込用ベース」「プランター付ベース」等で柱フレームを固定してください。突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。

⚠警告 ②本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、可燃性のメッシュ天幕を使用しておりますので、火災発生の原因となります。

⚠警告 ③ご利用の前に、本取扱説明書をご理解していただいた上で、テントを設置する場所に部材を並べ、部材数量を確認して下さい。制作には万全を期しておりますが、万一数量不足、不良品等が発見された場合は、ご使用にならず、お求めになった販売店へご連絡下さい。

⚠警告 ④設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。

⚠警告 ⑤設営・収納作業時には、ジョイント部分、ベース部分、スライド部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。また脚立での作業には、ケガや事故のないように十分にご注意ください。

⚠警告 ⑥設営・収納作業は安全のため、必ず大人4人以上で行ってください。

⚠注意 ⑦本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意 ⑧天幕を取り外して保管される場合は、風通しのよい場所には保管してください。湿気が多いとカビの発生の原因になります。

フレームを撤収する

※各部の名称は裏面の「各部材の名称」を参照してください。

1 めがねクイやフレームベースに打ち付けたリベット頭クイをすべて抜き取ります。フレーム固定用ベルトを外します。

2 フレームベースと柱フレームを固定している蝶ナット&ボルトセットを外し、柱フレームを少し持ち上げて、フレームベースを外します。

⚠注意 ●柱フレームを持ち上げすぎると、フレームが倒壊する恐れがあります。フレームベースが取り外せる程度に、慎重に柱フレームを持ち上げてください。

3 柱フレームとコーナージョイントを固定している蝶ナット&ボルトセットを外します。片方の2本の柱フレームを同時に折りたたみます。柱フレームはコーナージョイントにスライドさせて折りたたみます。つづいてもう一方の柱フレームも同じように折りたたみます。

⚠注意 ●柱フレームの折りたたみは短い面2本を先に行います。長い面のフレームを先に折りたたむとフレームが倒れる恐れがあります。

4 天幕開閉用レールに付属しているレールコマと天幕に付属しているガイロカンのリング部分を取り外します。

5 ワイヤーブレスを取り外します。まず、ターンバックル付きのワイヤーブレスのターンバックルをゆるめて、そのワイヤーブレスを外します。次に、もう一方のワイヤーブレスも外します。

6 短い方の間口の桁フレームをコーナージョイントとの固定用蝶ボルトを弛め、両端を同時にコーナージョイントから外します。同じように、間口が広い方の桁フレームも外します。

7 最後に天幕一式を取り外し、付属品の数を確認してください。

メンテナンスについて

1.使用後は天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。また定期的に中性洗剤の希釈水を使って汚れやクスミを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないように濡れ雑巾等で拭き仕上げをしてください。（シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となるので絶対に使用しないでください。）

2.塗装部のはがれやサビを発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装、補修を行ってください。

3.ボルト各部やネジ、ベルト、ひも等、緩みがないか定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合はお手持ちの工具等で締めつけてください。

4.天幕などの生地製品は経年劣化してきます。天幕単品をお求めの場合は、別途お見積もり致します。詳しくは、お求めになった販売店へお問い合わせください。

保管場所について

●本品を保管の際は、直射日光を避け、雨のあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

仕　様

型番	外形寸法	フレーム重量	天幕重量
SKA/3040	D:3.0m×:W4.0m×H:2.5m	約98.5kg	約3.5kg
SKA/3050	D:3.0m×W:5.0m×H:2.5m	約106.7kg	約4.3kg

フレーム	アルミ押出形材+アルマイトコーティング仕上（シルバー）
ジョイント	アルミ鋳物+ショットブラスト仕上
ベース	スチール+メッキ処理
芯材	アルミ押出形材+アルマイトコーティング仕上（シルバー）
天幕素材	ポリエステル100%+UVカット樹脂加工 メッシュ生地　厚み0.69mm
ワイヤー	Φ6ビニール被覆ワイヤー
動作形式	組立式
付属品	コーナージョイント×4　柱フレーム×4　桁フレーム×4　フレームベース×4　天幕（芯材付）×1　被覆ワイヤー×2　リベット頭クイ×8　めがねクイ×4　フレーム固定用ベルト×4　天幕開閉用ベルト×1

http://www.sakuracorporation.com

SAKURA CORPORATION 株式会社さくらコーポレーション

本　　社:〒610-0342　京都府京田辺市松井宮田26-1
東京営業所:〒344-0033　埼玉県春日部市備後西4-5-23

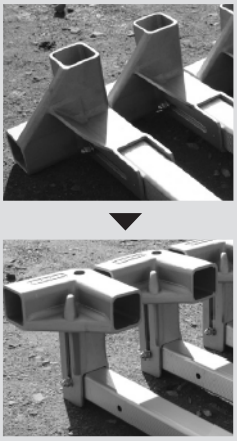
お問い合わせ、ご用命は……

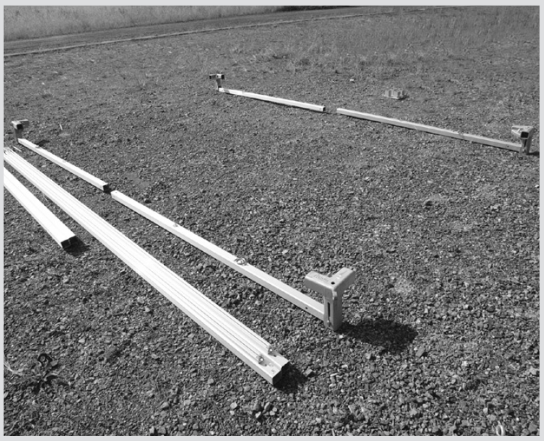
テントの組立て方法

※写真は「SKA/3050」を例に説明しています。テントの大きさや形状に違いはありますが、他の規格品も組立て手順は同じです。なお各部の名称は裏面「各部の名称」を参照してください。
※設営の人員は**大人4名以上**で行って下さい。また設営にはハンマー・脚立等の工具が必要です。

❶

梱包状態の柱フレーム＋コーナージョイントの下部の蝶ナット&ボルトを外して、コーナージョイントをスライドさせて直角に曲げ、設置する場所に柱フレームが向かい合うようにセットします。





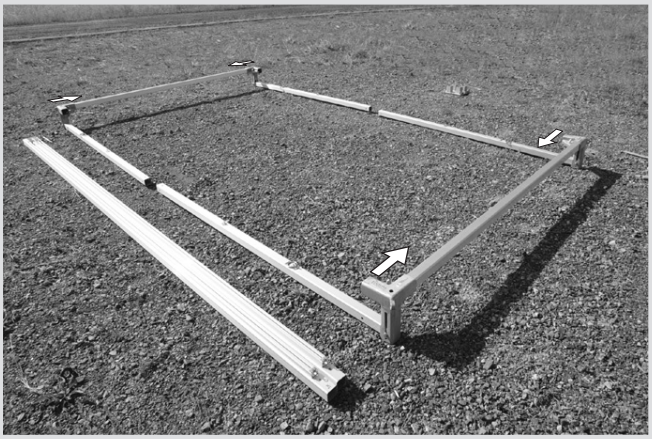
⚠ 注 意

蝶ナット&ボルトセットはフレーム立ち上げ後に固定用として、再度使用しますので、紛失しないように注意してください。

コーナージョイントには方向性があります。コーナージョイント上部のL字が設置場所を囲むように設置してください。

❷

短い方の桁フレームをコーナージョイントに差し込みます。桁フレームをコーナージョイントに差し込む時は、両端を同時にコーナージョイントに差し込んでください。



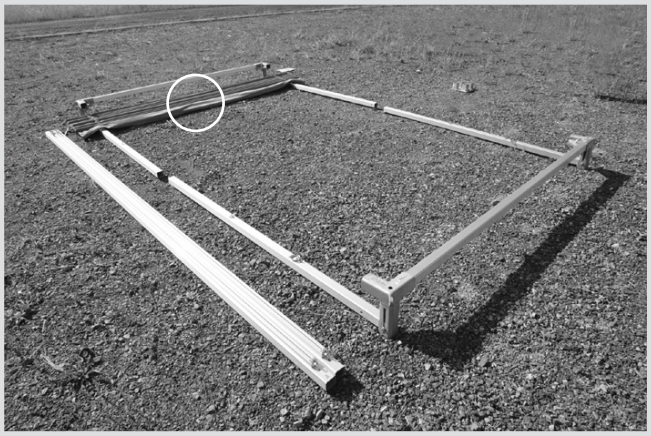
⚠ 注 意

桁フレームは、コーナージョイントの奥まで（突き当たるまで）しっかり差し込んでください。
しっかり差し込まないと、フレームが安定しない原因となります。

❸

メッシュ天幕（天幕＋芯材）をガイロカンのリング部が上になるように、柱パイプの上にセットします。

ガイロカン



❹

長い方の桁パイプをコーナージョイントに差し込みます。

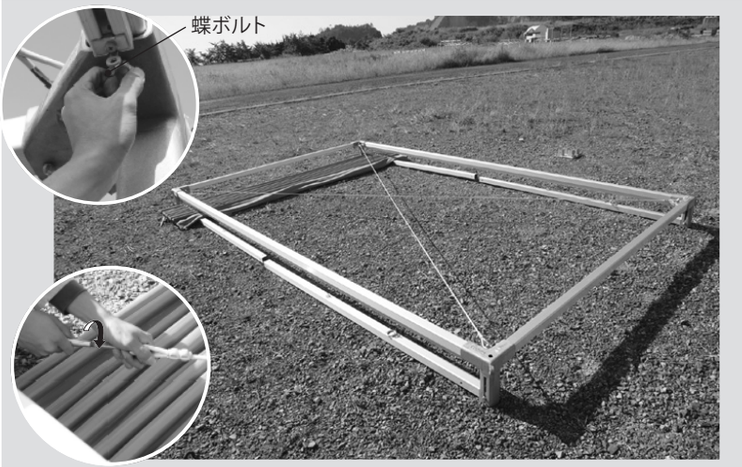
⚠ 注 意

この時点では、天幕開閉レールに天幕を取付ないでください。

5 2本のワイヤーブレスを取付ます。最初にターンバックルの付いていないワイヤーをセットします。ワイヤー両端の輪状部分をコーナージョイントの上部フックに掛けます。次にもう1本のワイヤーをセットし、ターンバックルで張りを調整します。
ワイヤーブレス取付後、コーナージョイント下部の蝶ボルトを締めて、桁フレームを固定します。

⚠ 注 意

2本目のワイヤーの取付は、ワイヤーのテンションで、掛けにくくなっています。最後のフック取付時にジョイントを持ち上げると容易にセット出来ます。



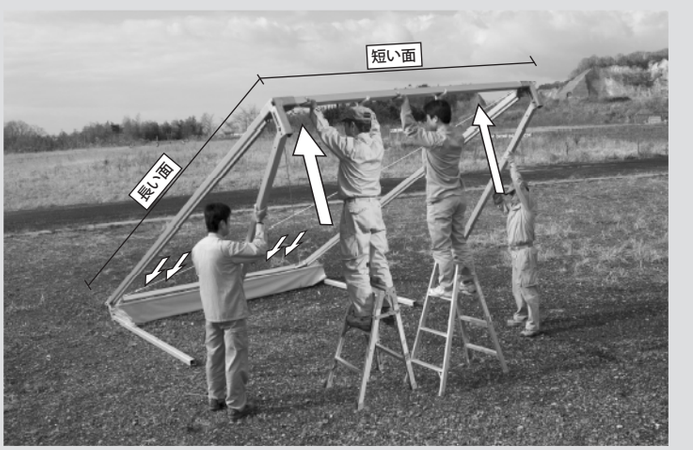
6 天幕開閉用レールに付属しているレールコマとガイロカンのリング部分を手前から順番に取付けていきます。最後のガイロカンのリングはレールストッパーについているS字フックに取付ます。

7 天幕を一方に寄せ、その反対側の片方2本の柱フレームを同時に立ち上げます。
柱フレームはコーナージョイントをスライドさせて立ち上げます。

⚠ 注 意

柱フレームの立上げは短い面2本を先に上げます。長い面のフレームを立ち上げるとフレームが倒れる恐れがあります。

柱フレームを立ち上げる際は、フレームを落とさないように慎重に行って下さい。製品の重みにより、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。



8 もう一方の柱フレームを立ち上げます。柱フレームは4本とも垂直にセットして下さい。

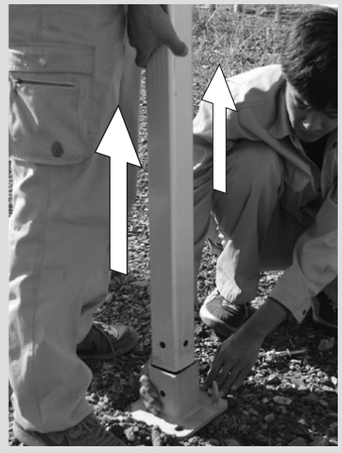
柱フレーム立ち上げ後、固定用蝶ナット&ボルトセットで、コーナージョイントと柱フレームを固定します。

9 フレームベースを柱フレームに取付ます。一人が柱フレームを少し持ち上げ、もう一人がフレームベースを取付ます。取付後、付属の固定用蝶ナット&ボルトセットで固定します。

フレームベース取付後、リベット頭クイを打込みます。柱フレーム1本あたり2本のリベット頭クイを打込みます。

⚠ 注 意

フレームベースの天幕固定用フックが一番外側に来るように取り付けてください。



10 テント四隅の対角上に、めがねクイを打ち込みます。コーナージョイントのフックにフレーム固定用ベルトのS字フックを掛け、もう一方を打ち込んだめがねクイに掛けてください。

※ベルトの張りは調整用金具で調整してください。

⚠ 注 意

フレーム固定用ベルトは必ず取付けてください。取付けないと、フレームが安定しません。

11 向かって一番手前にあるレールコマに、天幕開閉用ベルトについているリング部を引っ掛けます。もう一方の天幕開閉用ベルトも同じように引っ掛けます。

12 フレームセット完成後に再度、固定ボルトの確認&ロープの張り具合、天幕の形状等のチェックを行ってください。

⚠ 注 意

フレーム固定用ベルト等で足を引っ掛けないように注意してください。また、フック、ボルト等が露出していますので、指などに注意して下さい。また、テントフレームや天幕にぶらさがったりしないでください。フレームが曲がったり、崩壊したり、また芯材が折れたりして、大変危険です。

天幕を開閉する

❶

2つの天幕開閉用ベルトの両端を接続します。

❷

接続した2つの天幕開閉用ベルトを持って、天幕を開ける方向に歩いていきます。

❸

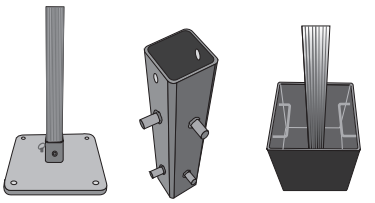
開閉用ベルトは、分割してベルト用リングに通し、ベルト用フックに引っ掛け固定します。

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お求めになった販売店へお問い合わせください。

●天幕が破れている、フレームが曲がっている等の異常のある箇所はないですか？

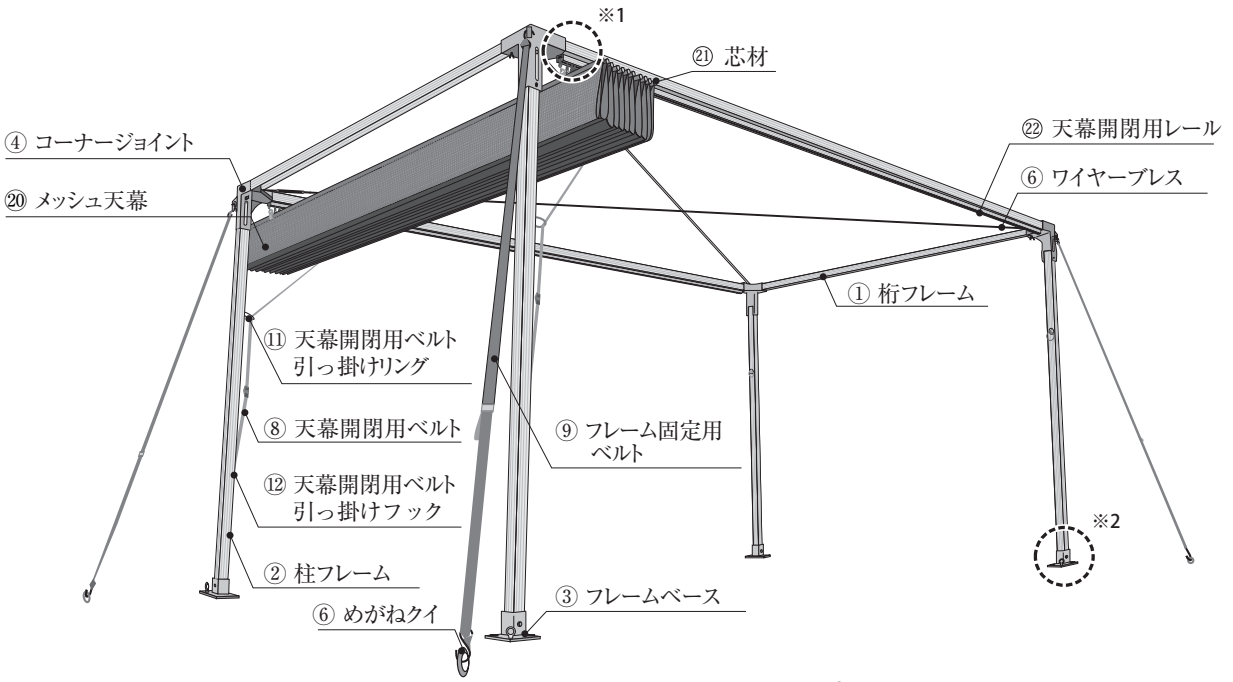
●固い地面や風対策に…

地面が固くクイを使用できない場合や、めがねクイとの併用で風対策用に、「加重付ベース」「埋込用ベース」「プランター付ベース」等の別売オプション品をご利用ください。



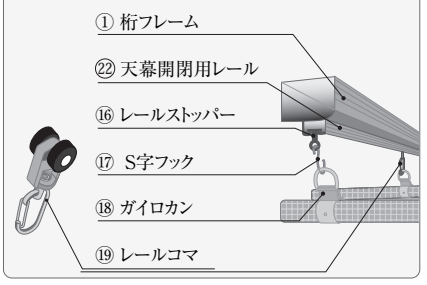
加重付ベース（30kg）　埋込用ベース　プランター付ベース

各部の名称

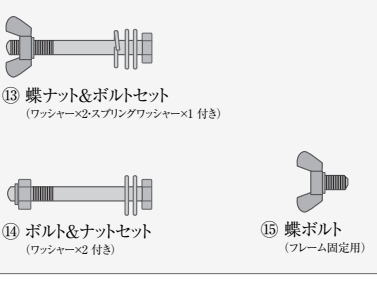


※1

天幕開閉用レール



ボルト（三種類）



※2

フレームベース